

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	対話型中央銀行制度の設計
研究代表者	渡辺 努 (東京大学・大学院経済学研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、中央銀行の独立性に関する従来の研究に比して希薄になりがちであった透明性に焦点を当て、中央銀行の情報が民間主体に理解・信頼される要因は何か、またその理解・信頼の程度が経済にどのような影響を与えるのかなどに関する知見を確立することで、中央銀行の最適な情報発信の制度設計を行うものである。</p> <p>応募者を中心に、研究分担者が各々の長所を活かす研究組織として構成され、理論モデル班、実証・サーベイ班、非構造化データ班、事例研究班における研究方法も明確に示されており、また、応募者らによるこれまでの研究活動実績も高く評価しうるものであることから、本研究の成果が期待できる。</p>